

# 3学期の不登校児童生徒への対応

～確認しておきたいこと～

新たな不登校を生まない

冬期から年度末にかけて、体調不良や人間関係等を理由に不登校児童生徒が増加する傾向があります。3学期のスタートにあたり、次の点から取組を再確認してください。

## 適切な登校アプローチ(欠席者への確実な対応)

休み始めたときには、そっとしておくのではなく、登校に向けた何らかの働きかけが大切なこともあります。不登校に限らず欠席者への対応として、「最初の3日間の対応」を徹底していきましょう。

- 1日目:家庭に連絡して様子を聞く。
- 2日目:家庭に連絡して様子を聞き、欠席理由を再確認する。  
場合によっては家庭訪問、本人の状況確認。
- 3日目:家庭訪問。本人と話をして様子を確かめ、保護者とも最近の様子について話をする。

## 積極的な支援

欠席が長期化し始めたり、断続的に欠席が見られたりする児童生徒には、早期に支援体制を整えましょう。(ケース会議を開催。役割分担、必要に応じて関係機関との連携、短・中・長期的な支援方針の確認等)

## 次年度への引き継ぎ

不登校や気になる児童生徒については、現状をしっかりと把握し、効果のあった取組や今後の課題等、経過を確実に次年度に引き継いでいきましょう。

H24年度不登校児童生徒数の推移(管内)

